

# 国際委員総会及び海外登山 遭難対策研究会報告

副理事長・遭難対策 高橋 優

去る6月18～19日、第30回国際委員総会及び海外登山遭難対策研究会が、南アルプス芦安山岳館に於て開催され、全国から37名が出席した。

まず、東日本大震災の黙祷が行われ、平成22年度の活動報告と23年度計画が次のよう

1. 海外登山奨励金登山隊公募と審査。ギリギリボーイズ ウルタルII峰隊2011に決定。

2. 平成22年度海外登山総会を栃木県日光で開催。

3. UAAA理事会・キルギス(5/21-23)総会・北京(11/5-8)

4. 国際スキー連盟総会・オーストリア(ザルツブルグ)

5. 海外登山女性懇談会

6. 日本スポーツ賞・横山、岡田ベア(ローガン峰南東壁世界初登攀)

7. 第49回海外登山技術研究会。

8. 海外情報収集。

9. 50周年事業推進・JACとの共催でクロニクル・トクショー5回を開催。

11. 第3回ウインタークライマーズミーティング2011(2/11-13)

〔公演〕中国四川省・牛心山南東壁初登攀・亀田博生氏公演「世界山岳気象と最近の傾向」地球規模で天候が変化する理由 猪熊隆之氏公演「日本のヒマラヤ登山の進展」神々の座・挑戦の記録 山森欣一氏

〔まとめ〕海外登山スタイルの変化、登山経験の伝達。牛心山南東壁初登攀では、天候とメンバに恵まれ感謝の意味でルート名を「感謝」としましたと報告され、海外登山のスタイルも変貌していました。

世界気象では、ヒマラヤ上空から日本まで続くジェット気流による気象等の変化の説明は、とても一時間で説明できる内容ではありません。気象データの集積ができればヒマラヤでの遭難の防止に最も大切な知識です。

山森氏のクロニクル(日本

海外登山履歴)では、登山スタイルの変遷と、50年間の経験を伝達し、今後の登山に役立つことがあれば望外の喜びです。と締められた。

## 遭難対策委員会研修 会兼総会に出席して

常任理事・遭難担当 吉村 賢

日本山岳協会主催の遭難対策委員会研修会兼総会が、6月25-26日の2日間、奈良県で行われ44名が出席しました。

あいさつの後、開催地の奈良県岳連から県警報告による山岳遭難件数、形態、年齢別などの報告があり、全国報告と同じ感じで、道迷いが40%ぐらゐりあり、40歳以上の中高年は7割ぐらゐり、と報告がありました。

基調報告「安全登山推進の現状」では、青山副委員長から22年度は2396件と増加し続ける遭難事故として、増加は問題か?増加原因の責任は?と定義がありどうするといのかの提案、自論の発表がありました。

これを受け、3班に分かれてグループワーク「具体的に数値減少をさせるには」で自己紹介がてら各岳連の取り組

み状況や考えを発表しました。論じる箇所は様々色々ありますが、道迷いの減少を重点的に話し合い、道標を充実させ地域自治体に数値として取り組み結果を基に協力を取り付けるように、モデル山城を作るとありました。

翌日は総会の後、町田副委員長から墜落時の衝撃力の測定結果報告、トレッキングボートの強度の測定方法の変更や種類による強度の違いの報告がありました。

青山副委員長から「第8回事故調査報告」があり、警視庁発表の事故報告を基にリスク分析を行い発表がありました。その中でも道迷いの件数が4割ほどあり、単に道迷いぐらゐんの問題だけでなく、山菜取りによるものや、ちよつとお花摘みに行つてルートに戻れないなど様々です。世界規模でみると、道迷いは珍しく、UAAAの中では日本・イギリス・カナダぐらゐり少

数です。何が違うのでしょうか? データ的には、山へ行けば行くほど致命的な事故の確率も高くなり、だからと言つて山へ行かないのも筋違いで、具体的な特効薬はなく、地道に事故を減少させる努力を続けるしかないと思ひました。

うなぎ錦三丁目 いばしょう

いばしょう

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号  
TEL.052)951-1166番  
営業時間 午前 11:00~午後 2:30  
午後 4:00~午後 8:00  
定休日 日曜日・第二・第三月曜日

CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設



http://climbing-park.com

☎0532-26-3737

住所:愛知県豊橋市関屋町138番地



モンタニア

住所:愛知県豊橋市笠野5番地 ☎0532-55-0125 http://www.montania.jp

## 全国山岳遭難対策協議会

登山者増えブームの再来!?  
若年層でも道迷い遭難多い愛知県遭難防止  
対策協議会理事 中平等 新一

平成23年度全国山岳遭難対策協議会が、文部科学省などの主催で、7月7日(木)国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室で開催され、全国から山岳、警察、消防等の関係者ら250名が出席した。

午前10時に開会され、開会あいさつ、講師の紹介があった。協議会が始められた。

最初に「平成22年中の山岳遭難事故概況報告」が、警察庁生活安全局地域課課長補佐・笠井成樹氏が行い、22年中における山岳遭難の発生件数、遭難者、死者・行方不明者、また中高年者や単独行者等の遭難の状況が報告された。

つづいて「大津市消防局における山岳遭難対策の取り組みについて」警防課副参事清防救助係長事務取扱消防司令・重盛篤樹氏から、まず比良山系におけるヘリによる救助の実際を映像で紹介され、①関係機関との連携②レスキュー

ポイントの設置活動③レスキューポイント標識等の整備、などの報告がされた。

レスキューポイント設置場所には、防災ヘリ隊員が降下可能な場所、ケガ人等を吊り上げ救助できる場所、陸上からケガ人等に接触した場合、すこしの地上搬送で防災ヘリと連携が取れる場所、があげられ、また、山岳事故の特徴として、①無理な登山②安易



な登山③山を軽視した登山、が指摘された。

午前中の報告終了後は、昼食休憩となり午後1時30分から講義が始まった。

まず「過去の遭難実態の分析」を静岡大学教育学部教授・村越真氏が行った。

最近の登山ブームの実態から始まり、登山目的の多い県、少ない県、登山と山菜採りの連綿リスクなどが話され、まとめとして①登山目的に限ると道迷いの率は約35%②発生数が多いのは男女とも60歳代③道迷いは若年層でも多い④男性60歳代に多い病気は高リスク⑤転倒も意外に高リスク

## テーピング講習会

## 山でのトラブルに対処

G S A  
石川まゆみ

7月10日(日)10時から15時まで、愛知県スポーツ会館に於て、テーピング講習会を開催しました。講師に名古屋リゾート&スポーツ専門学校講師の田上昌伸先生をお招きして、登山の事故・怪我の場面に想定したテーピング技術が

④低山、高山では遭難状況は異なる。

また、提言として、地図とコンパスを持つ、体力をつける、カロリーと水分の摂取、などがあげられた。

次に「遭難防止の取り組みと連携」と題してパネルデスクッションがあり、各機関の取り組みについて、どのような問題を持ち、どのように連携を取る必要があるのか。について非常に熱心な討議がされた。

最後に「山岳遭難事故防止のために」の取り組みについて宣言文を採択し、午後3時30分閉会した。

習得出来るよう進めていただきました。参加者は33名の熱心な愛知岳連会員の方々でした。講習中いたるところから質問が飛び交いましたが、田上先生は現役のスポーツトレーナーとして活躍中で、どんな質問にも瞬時に答えてくださり、中身の濃い講習となりました。

ピングの種類や切り方・剥がし方・巻き方等、講義の間に実習を積み、理解しやすい内容でした。さらに足関節捻挫のメカニズム・評価、足の構造等医学的な説明により、特徴を捉えたテーピングの必要性を理解しました。

午後は、実習を多く体験して、より体得出来るよう二人一組となつて奮闘しました。

まず足首の捻挫受傷時を想定してテーピングデモを確認後、思い出しながら次の順でやってみました。①皮膚保護の為にアンダーラップ②アンスカー③スターアップ④ホリスニュー⑤オーブンバスケット(腫れを予想して)

次に、足首内反捻挫予防として、基本編・応用編・簡単編に挑戦しました。最後に膝を曲げると痛む時のテーピングを学習しました。

一日を通して印象に残ったのは、講師いわく「愛傷者に安心して任せてもらえるような、カッコいいテーピング技術を身につけてほしい!!」とのことでした。

今日の講習を切っ掛けにして、山でのトラブルに落ち着いて対応できるように、テーピング練習を繰り返し役立てて行きたいと思いました。田上先生ありがとうございました。

## 第32回東海ブロック大会

## 愛知成年女子が本大会出場権

国民体育大会第32回東海ブロック大会(山岳競技)兼第32回国民体育大会東海地区予選大会が、7月16日(土)17日(日)三重県宮(鈴鹿スポーツセンター)で開かれ、愛知は「鈴鹿スポートジム遊」に於て行われました。

一日目は室内でボルダリングが行われました。二日目は屋外で朝に二雨ありましたが、その後は好天となり、リード競技には支障なく熱戦が繰り広げられました。二つの競技の性格の違いと選手の実力とをバランス良く戦略するのも、ギリギリの勝負では大切であると感じました。

本大会出場権を得た、愛知成年女子チームおめでとう！昨年の怪我にもめげないリーダーのがんばり、補い合っている素晴らしいパフォーマンスでした。

少年女子は惜しかった。本大会と一歩だったけど、持ち味を精一杯活かしたとても良いチームでした。少年男子もご苦労様、実力も順調に上がっているぞ、リードの腕を更に磨こうね。来年は愛知県が東海ブロック担当で、本大会は岐阜です。東海ブロックからは岐阜は別枠で出ますので、3県での選手権となります。

チャンスです。今から、来年の夏を狙え、ルートセッターはじめ裏方さんもご苦労様でした。嬉しい熱い夏の日でした。(北村憲彦)

成績は次のとおりです。

- ▼成年女子
  - ①愛知 ②岐阜
  - ③静岡
- ▼少年男子
  - ①岐阜 ②静岡
  - ③愛知 ④三重
- ▼少年女子
  - ①岐阜 ②三重
  - ③愛知 ④静岡



## 気象講習会を受講して

MMC岡崎山岳部

山本 浩美

山行の前には、必ず天気予

報は見ていましたが、前線の動きや降水確率を見る程度のレベルでした。一人で山に登るようになり、安全な登山をするには、少しでも知識を高めなければと参加させて頂きました。

天気図の書き方で、ラジオを聞きながら天気図用紙に情報を記入し、その後前線や等圧線の引き方を教えて頂き、天気図はこうして書くものと解り良い勉強になりました。その他天気図の見方も教わり、今後天気予報の見方が変わってききました。その後、自宅にて毎日ラジオを聞きながら天気図を書いていますが、等圧線を引くのは難しく翌日の新聞を見て確認するのが日課となりました。毎日続けると気圧の動きや等圧線の引き方が、少しづつ解り楽しんで出来る様になりました。

今後この知識を山行で活かして安全な登山を続けて行きたいと思っています。

向陽高校ワンダーフォーゲル部

林 佑樹

僕は部活での宿泊山行の時にラジオを聞いて基本的な天気予報ができるようになるために、この気象講習会に参加しました。

中小企業・個人事業の経営者の悩み  
市民生活の困りごとの相談までをサポート

最初の1時間は無料。1時間5250円。  
電話で予約を。出張も可能。

\*\*\*\*\*

会計業務、契約書の作成代理とチェック、建設業認可、風俗営業許可など役所への許認可の申請代行、入管手続き、公正証書、遺言書、遺産相続関連の書類作成と相談など。

〒460-0002

名古屋市中区丸の内3丁目1523番地  
大栄ビル 204号室

行政書士 西山秀夫

TEL: 052-961-6506

FAX: 052-961-6507

メール: daisy@aicchi.email.ne.jp

URL: <http://www.nygs-office.com/>

営業時間: 平日 11:00~19:00

土曜 11:00~17:00

休日: 日曜、休日、臨時休業

観光庁長官登録旅行業第480号/社団法人日本旅行業協会正会員  
ALPINE ツアー サービス

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社  
まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい  
個人&グループでのご利用お待ち申し上げます

名古屋営業所 TEL: 052-581-3211

〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-6 第2千禧ビル8階

FAX: 052-561-8338 E-mail: [nagoya@alpine-tour.com](mailto:nagoya@alpine-tour.com)

ホームページ <http://www.alpine-tour.com>